

志布志市の決算状況を報告します

※掲載の都合上、決算額は一万円未満を、構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります。

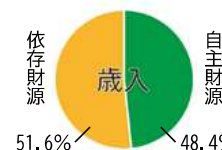
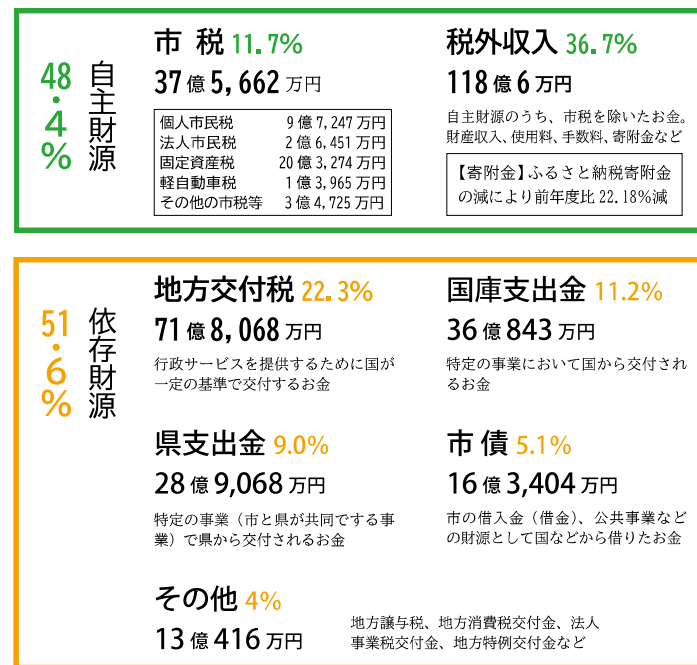
決算とは、市税や国・県からの補助金などがいくら入ってきて、どのように使われたかを整理した市の家計簿のようなものです。令和6年度の歳入（収入）決算額は、321億7,466万円、歳出（支出）決算額は311億5,349万円となりました。実質収支は黒字となります。歳入・歳出ともに前年度より減額となり、歳入で26億7,325万円（7.7%減）、歳出で29億1,238万円（9.6%減）となりました。

（収 入）歳入決算額 **321億7,466万円**
 （支 出）歳出決算額 **311億5,349万円**
 （繰越分）令和6年度中に完了しなかった事業の経費 **1,884万円**
 令和6年度の黒字額 **10億234万円**

一般会計決算

（実質収支額）

（収入）一般会計歳入



【ふるさと納税】令和6年度寄附額 **51億9,050万円**

114の事業に48億4,550万円を活用しました。（歳入では、税外収入「寄附金」に含まれます）
 活用した主な事業：自治振興事業、プレミアム商品券発行事業、物価高騰対策事業、子ども医療費助成事業、保育所運営事業、学校給食費補助事業など

市の財政を家計に例えると・・・

支出（歳出）

生活費（食費、光熱費など）	人件費、物件費、補助費	152,669 円
住宅ローンの返済など	公債費	33,734 円
家族の医療費など	扶助費	74,821 円
子どもへの仕送り	繰出金	22,922 円
家の増改築、補修など	普通建設事業費、災害復旧事業費、維持補修費	55,359 円
貯蓄、その他雑費	繰入金、その他	92,985 円
		432,490 円

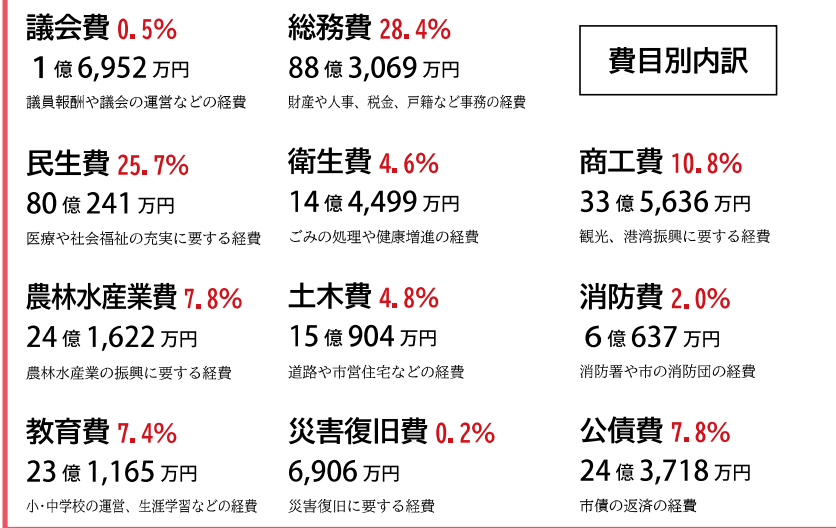
差額14,177円のうち、今月の支払いが終わっていないもの（市の財政では翌年度へ繰り越すべき財源に該当）が262円、残額13,915円を翌月（市の財政では翌年度へ）に繰り越します。

収入（歳入）

月給（給料、諸手当など）	地方税、地方交付税、地方譲与税、国庫支出金など	259,514 円
ローンの借入	市債	22,780 円
資金活用、雑収入など	使用料、手数料、分租金・負担金、寄附金、財産収入、譲収入など	81,740 円
預金引出	繰入金	71,913 円
先月の残金	繰越金	10,720 円
		446,667 円

この資料は1世帯あたりの平均所得月額44万6,667円（参考：厚生労働省「令和6年国民生活基礎調査」）に本市の一般会計予算額に占める各経費の割合を乗じ、一般家庭におけるそれぞれの経費を算出しています。

（支出）一般会計歳出



財政健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率などを公表します。市の令和6年度決算の比率は、国の基準である早期健全化基準・財政再生基準・経営健全化基準を下回っている状況です。

健全化判断比率

指標名	決算比率	早期健全化基準 （国の基準）	財政再生基準 （国の基準）
実質赤字比率	—	13.13%	20.00%
連結実質赤字比率	—	18.13%	30.00%
実質公債費比率	10.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	—

資金不足比率

本市では、全ての公営企業会計（水道事業会計、農業集落排水事業会計、国民宿舎特別会計、工業団地整備事業特別会計）で資金不足は発生していません。

【指標の説明】

実質赤字比率：市町村の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率
 連結実質赤字比率：全ての会計の赤字・黒字を合算し、市町村全体としての赤字の程度を示す比率
 実質公債費比率：市町村の借入金の返済分などの大きさを指標化し、財政負担を見るための比率
 将来負担比率：市町村の借入金や将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、将来の負担を示す比率
 資金不足比率：公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率を示し、経営状況を把握するための比率